には れがもなっ る あ :歩む、 地 n 地域 地 域 0) を考えるきっ n 発展するように 行 人 エ た情報 済特 進す 々 北 同 marche が 海 á, 音の 有の 集 道 誌が 13 マ テー 進 か 交流 歩す ル けとなるように、 は マを取り上 K シ ル ると フランス 0) エ 願 nord= エ 活気 いう意 ル げ ド 込 あ 北

●理解を深めるために……

Books

※循環型社会と経済

『グッズとバッズの経済学〜循環型社会の基本原理』 細田衛士/東洋経済新報社、1999

『ゼロエミッションと日本経済』 三橋規宏/岩波新書、1997

※ドイツの政策と日本の政策

『どう 創る循環型社会~ドイツの経験に学ぶ』 川名英之/緑風出版 1999

※ 地域通貨

『エンデの遺言〜根源からお金を問うこと』 河邑厚徳/日本放送出版協会、2000

『だれにでもわかる地域通貨人門~未来をひらく希望のお金』 森野栄一監修/北斗出版、2000

『**可能なるコミュニズム**』 柄谷行人編著/1999

※雑誌など

『**日経地域情報**』 (NO.346、334、335) 地域事例など 日経産業消費研究所

『地域開発』 (97/10、98/7、8、99/6) ゼロエミッションなど 財) 日本地域開発センター

『アステイオン 53』地域通貨 国際知的交流委員会/TBSブリタニカ、2000

NODE **00/4·5月号**』地域通貨

北海道情報宣伝研究所

『地方財務 2000、9月号』地域通貨 ぎょうせい

November.2000 **No.004**

編集後記

今までの地域は、外に向かって開くことに重きを置き過ぎていたような気がします。地域内でのモノ、カネの循環システムを考えていくことは、ただグローバル化や高度情報化に振り回されるのではなく、じっくりと内なる地域を見つめ直していくチャンスではないでしょうか。(S.K)

循環型社会を実現するためには2つの重要なポイントがあるように思います。一つは今まで廃棄されていたものを資源として活用させる循環サイクルの「仕組みづくり」。もう一つは需要と供給をバランスさせること。循環サイクルのなかで、供給側と需要側の利益が結び付き、容量が無駄なく利用されなけばなりません。サプライサイドのモノづくりから、マーケティング導入による顧客満足度の高いものへと変容を遂げてきたモノづくりですが、循環型社会においては、今までとは違った形の需要と供給の融合が求められているのかもしれません。(S. M)

●『マルシェノルド』へご意見・ご感想をお寄せください。 〒001-0011 札幌市北区北11条西2丁目セントラル札幌北ビル (財)北海道開発協会 広報研修部

地域経済レポート 『マルシェノルド』係 まで

●表紙の切り絵作家 三苫 麻由子

東京都出身。武蔵野美術短大卒業後、広告代理店勤務などを経てフリーに。'94年札幌へ。みとままゆこのペンネームで、水彩、ペン、墨絵、切り絵など、さまざまなタッチでジャンルにこだわらず活躍中。本誌の表紙は、毎号テーマのイメージによるオリジナル作品を掲載。

開発こうほう増刊/地域経済レポート

KAIHATSUKOHO Extra Number Regional Economic Report

マルシェノルド第4号

発 行:平成12年10月25日 発行・編集:(財) 北海道開発協会 編集協力: 釧路公立大学地域経済研究センター 印 刷 所:(株)須田製版 不許複製 http://www.hkk.or.jp